



2020年11月6日

各 位

会社名 レック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 永守 貴樹
 (コード番号 7874 東証第一部)
 問合せ先 取締役経理部長 増田 英生
 (TEL. 03-3527-2150)

特別損失の計上、2021年3月期第2四半期連結業績予想数値と実績値の差異
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2020年7月5日に発生しました当社静岡第2工場での火災事故において、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げ、ご遺族に対し心よりお悔やみ申し上げます。

また、負傷をされた方、近隣の皆様、関係ご当局の皆様、株主の皆様、お客様をはじめとする多くの方々に多大なご迷惑、ご心配をおかけしますこと深くお詫び申し上げます。

当社は、2021年3月期第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)において、当該火災による損失額(一部概算計上)を特別損失として計上いたしましたので、お知らせいたします。

また、2020年5月14日に公表いたしました2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。併せて、通期連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

本火災による損害額は現時点において確定できておりませんが、2021年3月期第2四半期連結累計期間において、現時点の見込みに基づく損害額を特別損失として9億6百万円計上いたしました。

(単位：百万円)

内容	特別損失計上額
災害による損失	820
災害損失引当金繰入額	85
合計	906

(注) 1. 上記特別損失計上額は現時点の見込みに基づく概算額であり、今後変動する可能性があります。

2. 2021年3月期第2四半期末時点において、保険金の受取額は確定しておらず、かつ見込むことも困難なため、保険金の受取額は特別利益に計上していません。

2. 2021年3月期第2四半期連結業績予想数値と実績値の差異 (2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	25,000	2,300	2,350	1,430	42.02
今回修正予想(B)	25,563	3,527	3,598	1,909	55.92
増減額(B-A)	563	1,227	1,248	479	—
増減率(%)	2.3	53.4	53.1	33.5	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期第2四半期)	23,330	2,253	2,375	1,588	44.99

3. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	50,000	4,200	4,300	2,600	76.57
今回修正予想(B)	50,000	5,500	5,600	3,100	90.69
増減額(B-A)	—	1,300	1,300	500	—
増減率(%)	—	31.0	30.2	19.2	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	48,211	4,129	4,250	2,519	71.37

4. 差異及び修正の理由

2021年3月期第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、新型コロナウイルス感染対策として「バルサン」ブランドの新製品であるウイルス除去商品をはじめとする衛生関連商品が好調に推移いたしました。また、外出自粛による在宅時間の増加による巣籠り需要により、家庭内の時間を快適に過ごすための清掃用品等の販売も堅調に推移し、当初予想を上回りました。

利益面につきましては、売上高が堅調に推移したこと及びそれに伴う製造工場の生産性向上等により、営業利益、経常利益が大幅に当初予想を上回ることとなり、特別損失として火災による災害損失の計上をいたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益も当初予想を上回る結果となりました。

なお、2021年3月期通期連結業績予想数値につきましては、経済環境等不透明な状況が続くものと思われませんが、最近の業績の動向を踏まえ、当初の業績予想を修正いたします。

(注) 上記予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想と異なる結果となる場合があります。

以上